

生き残りをかけた「朝敵」藩の顛末

新史料を博搜、西日本を中心に地方藩の戦後処理を明かす
郷土史資料として全国の公共図書館必携！

ぼ し ん ち ょ う て き 戊辰戦争と「朝敵」藩 — 敗者の維新史 —

予約募集！

水谷 憲二 著

2011年3月刊行予定！ 定価 12,600円（本体 12,000円+税5%）
A5判・上製本・貼函入・528頁（予定） ISBN978-4-8406-2044-4 C3021 ¥12000E

- 西日本を中心とした「朝敵」藩から、戊辰戦争を再検討した初めての書。
- 特に桑名藩（三重県桑名市）について注目し、新視点で迫る。
- 四国の伊予松山藩（藩主松平定昭）・高松藩（藩主松平頼聡）、山陽の姫路藩（藩主酒井忠惇）・備中松山藩（藩主板倉勝静）、北陸の小浜藩（藩主酒井忠氏）、山陰の宮津藩（藩主松平宗武）、東海地方の大垣藩（藩主戸田氏共）・鳥羽藩（藩主稲垣長行）、房総の大多喜藩（藩主大河内正質）も検討（本チラシ裏面参照）。
- その他、北陸道筋・中山道筋の諸藩など、江戸以西の180藩以上の動向を取りあげる。
- 博搜した新史料を駆使した最新・高度な研究。
- これまで多用されてきた回顧録の記述も厳密に史料批判のうえ再検討。
- 徹底した実証研究とともに、類例・他藩との比較、中央政府の政治政策を加味し、戊辰戦争史、さらに明治維新史に大きな影響を与える。
- 巻末に、本書内でとりあげた各藩の幕末維新期の動向を、出典を明示した表と図を付録掲載（約70頁）。幕末維新期の基礎データとして有用。

【桑名藩とは】桑名藩主松平定敬が幕末期に京都所司代の重職につき、兄である京都守護職の会津藩主松平容保とともに、徳川慶喜をバックアップ。幕末期の終盤には、倒幕を指向する薩摩・長州藩とは対立関係にあった。鳥羽伏見戦争では、会津藩とともに旧幕府軍

八木書店

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-8

Tel:03-3291-2961 / Fax:03-3291-6300 pub@books-yagi.co.jp <http://www.books-yagi.co.jp>

目次 (予定)

序章 戊辰戦争研究

第I部 桑名藩の戊辰戦争

- 第一章 桑名開城の顛末
〔コラム1〕 桑名藩帰還兵の顛末
- 第二章 桑名藩士の謹慎と策動
〔コラム2〕 盲目の桑名町人相村保寿嘆願運動
- 第三章 桑名藩の宥免をめぐる対新政府戦略
〔コラム3〕 酒井孫二郎の北行と松平定敬の帰順
- 第四章 尾張藩統治下の桑名城下と同藩取締役所の寺社支配—桑名市博物館所蔵三崎家文書を中心に—

第II部 鳥羽伏見戦争の有罪藩—宥免をめぐる折衝—

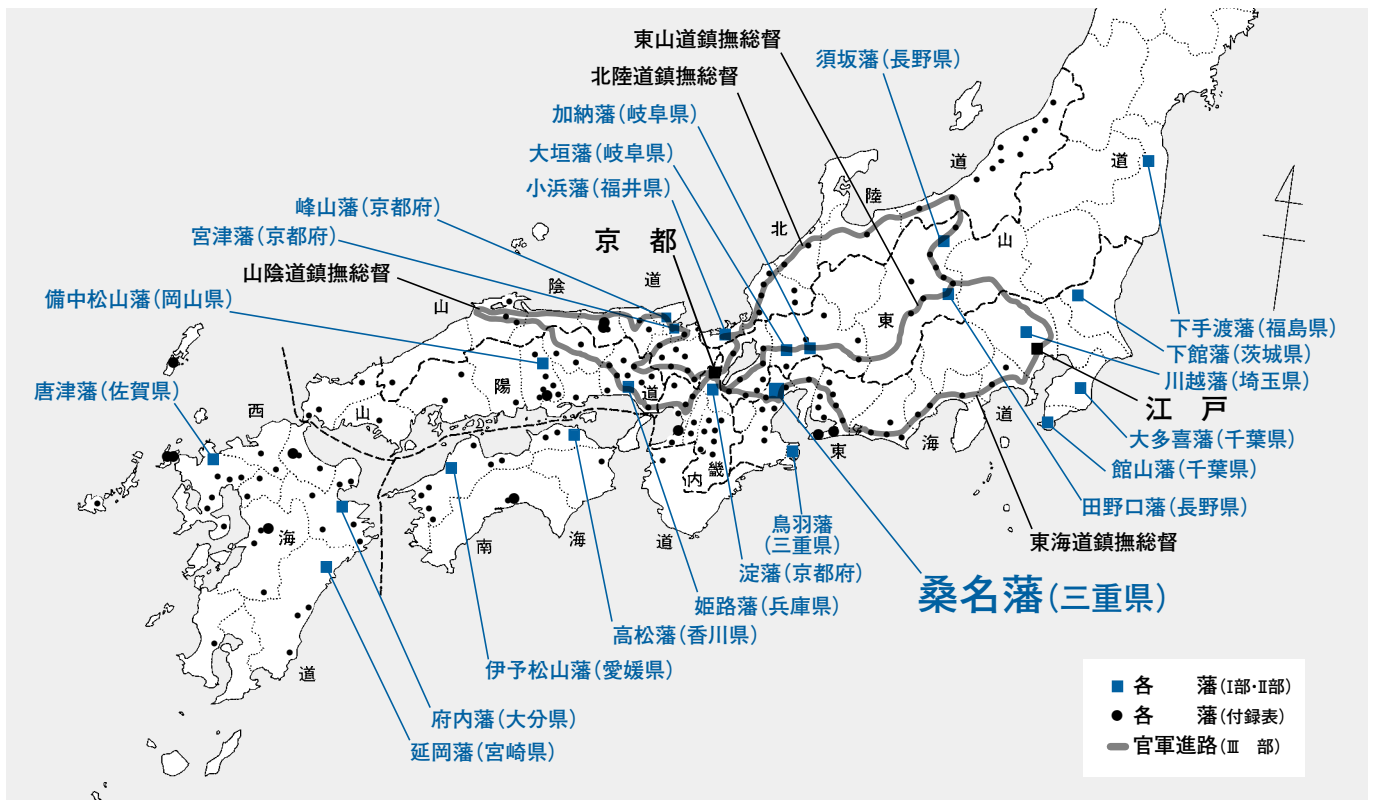
- 第一章 官位剝奪藩
高松藩／伊予松山藩／姫路藩／備中松山藩／大多喜藩
- 第二章 入京禁止藩
鳥羽藩／大垣藩／小浜藩／宮津藩／延岡藩
- 第三章 旧幕府老中・若年寄在職者の処分
—江戸滞在者のケース—
淀藩／加納藩／田野口藩／川越藩／府内藩／須坂藩
館山藩／峰山藩／唐津藩／下手渡藩／下館藩

第III部 新政府の江戸以西平定

—地方藩の処置をめぐる各官軍の特質—

- 第一章 東海道筋—東海道鎮撫総督
鳥羽伏見戦争の勃発と大津守備態勢の構築
桑名討伐の拜命／桑名藩の処置／江戸進軍
 - 第二章 北陸地方—北陸道鎮撫総督
若狭・越前・加賀・越中国の平定
越後国の平定／諸藩分領の処置
 - 第三章 中山道筋—東山道鎮撫総督
近江国の平定／美濃国の平定／信濃・上野国の平定
〔コラム4〕 越後国椎谷藩に対する処置
 - 第四章 畿内・紀伊国—鷲尾隆聚
 - 第五章 山陰地方—山陰道鎮撫総督
三丹の平定／出雲国の平定
 - 第六章 山陽地方—中国四国追討総督・山陽雄藩
鶴田藩・福山藩の顛末／備中松山開城・姫路開城の顛末
岡山藩と山陽地方東部の平定／中国四国追討総督
 - 第七章 四国地方—土佐・長州藩
高松開城の顛末／伊予松山開城の顛末／長州勢の四国進攻
〔コラム5〕 高松討伐軍の内情
 - 第八章 九州地方—九州鎮撫総督・薩摩藩
- むすび／索引
付録図表 (藩主の上京・誓約をめぐる動向他、約70頁)

本書で扱う諸藩と官軍進路



申込書	水谷憲二著・八木書店刊		2011年3月刊行予定	取扱店 (番線印)
	戊辰戦争と「朝敵」藩 —敗者の維新史—		[] 冊	
	ISBN978-4-8406-2044-4 C3021 ¥12000E 定価 12,600円 (本体 12,000円 + 税5%)			
	お名前 (ふりがな)		TEL	
ご住所 〒		FAX		
		E-MAIL		